

お金を借りた経験がある方1,052名の 主に消費者金融の利用状況・属性等を調査

セントラルアーティクル編集部では、お金を借りる方法について解説する記事において、さらに有益な情報をお伝えするため、お金を借りた経験がある方1,052名の、主に消費者金融の利用状況等をアンケート調査しました。

当資料では、調査会社によるアンケート調査の結果得られた客観的なデータを明示するとともに、編集部にてアンケート内容から独自に分析した内容をまとめて編集・作成しています。

アンケート調査概要

調査目的	お金を借りた経験がある方の、主に消費者金融の利用状況・属性等を調査し、分析するため。
調査地域・対象	日本全国の男女においてお金を借りた経験がある方 ※クレジットカードのキャッシング機能を利用した、消費者金融カードローンを利用した、銀行カードローンを利用した、スマホアプリでお金を借りた、国の公的融資制度を利用する、人からお金を借りた、質屋でお金を借りた方（そのうち消費者金融カードローンを利用した方を優先抽出）
調査方法	インターネット調査（スクリーニング調査→本調査分割） ※サンプルサイズ：スクリーニング調査：n=10,000ss / 本調査：n=1,000ss ※モニターからランダムに抽出
総回答数／有効回答数	3,532名／1,052名
調査期間	2024年3月26日 ～ 2024年3月28日
調査主体	セントラルアーティクル編集部
記事	https://011330.jp/borrow-money.html

※アンケート調査は調査会社の方針により、[マーケティング・リサーチ綱領](#)、[JMRA各種ガイドライン](#)および[個人情報保護法](#)などの日本国内の法令に従って実施されています。アンケートの回答から個人が特定されることはありません。当資料は調査会社によるアンケート調査結果を元に、セントラルコラム編集部が編集・作成しています。

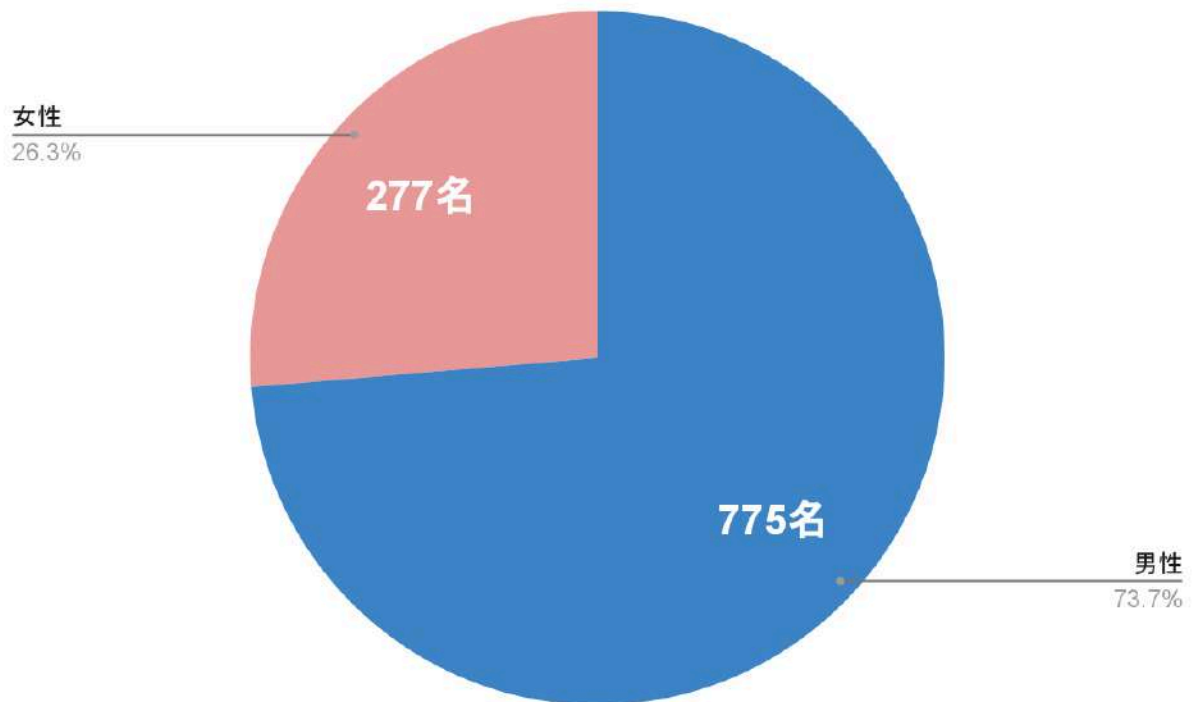
アンケート調査・当資料作成の流れ

1. 調査主体である編集部が調査会社に当アンケート調査を依頼
2. 調査会社がスクリーニング調査でお金を借りた経験がある方を精査
3. 調査会社がスクリーニング調査の結果からお金を借りた経験がある方を対象に本調査を実施
4. 調査会社から提出されたアンケート調査結果を元に、結果のグルーピング、グラフ・表の作成などを調査主体である編集部にて実施。当資料を作成。

スクリーニング調査

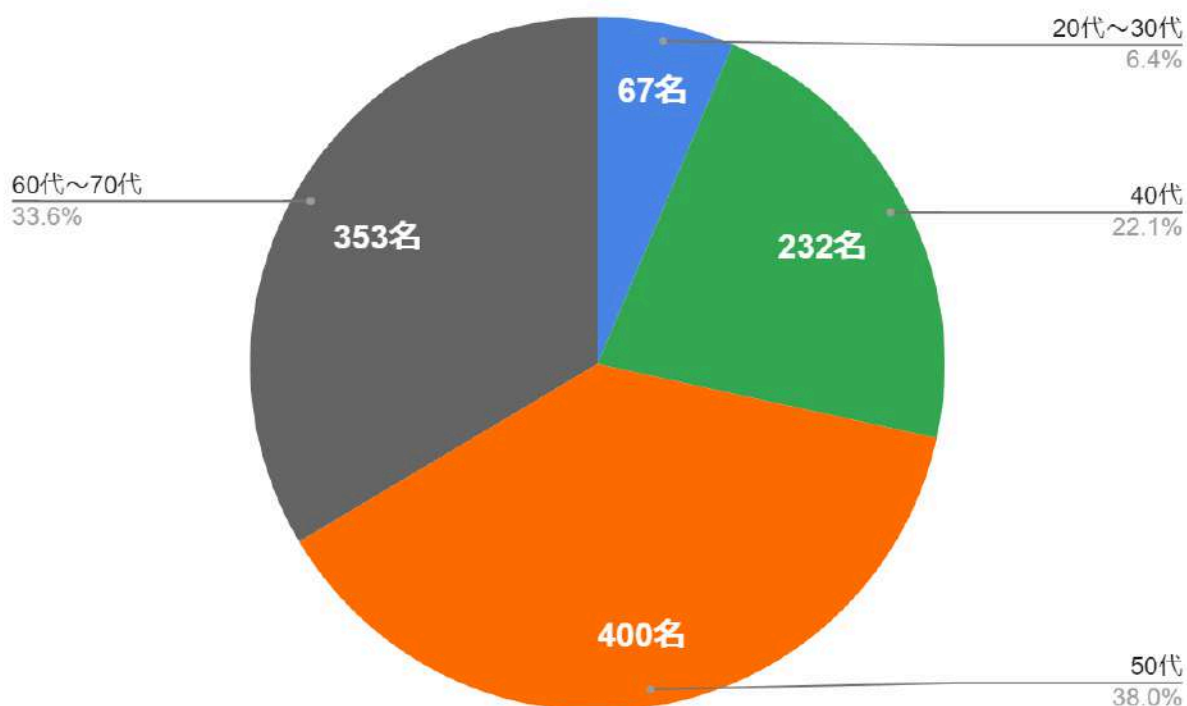
本調査の前段階としてスクリーニング調査を実施し、「お金を借りた経験がある方」を精査しました。総回答数3,532名のうち、調査対象である「お金を借りた経験がある方」として認められる1,052名を有効回答数としています。ここでは、そのスクリーニング調査の内容と結果を報告いたします。

QS1. あなたの性別をお答えください。



男性	775名
女性	277名
合計	1,052名

QS2. あなたの年齢をお答えください。

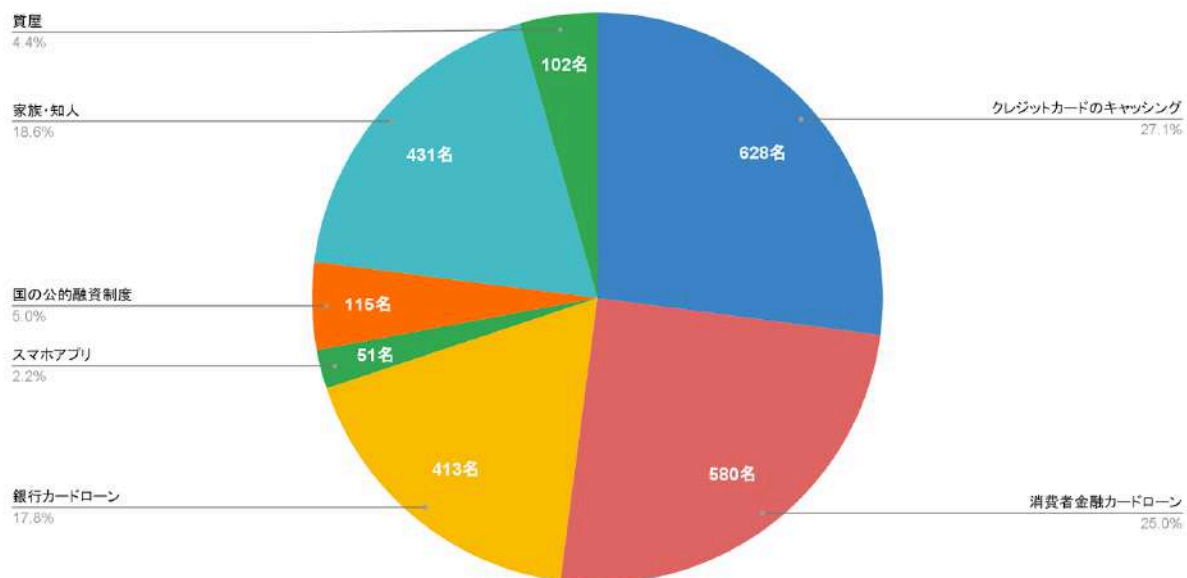


20代～30代	67名
40代	232名
50代	400名
60代～70代	353名

※アンケートでは正確な年齢をご回答いただいておりますが、年代別にまとめて集計しております。

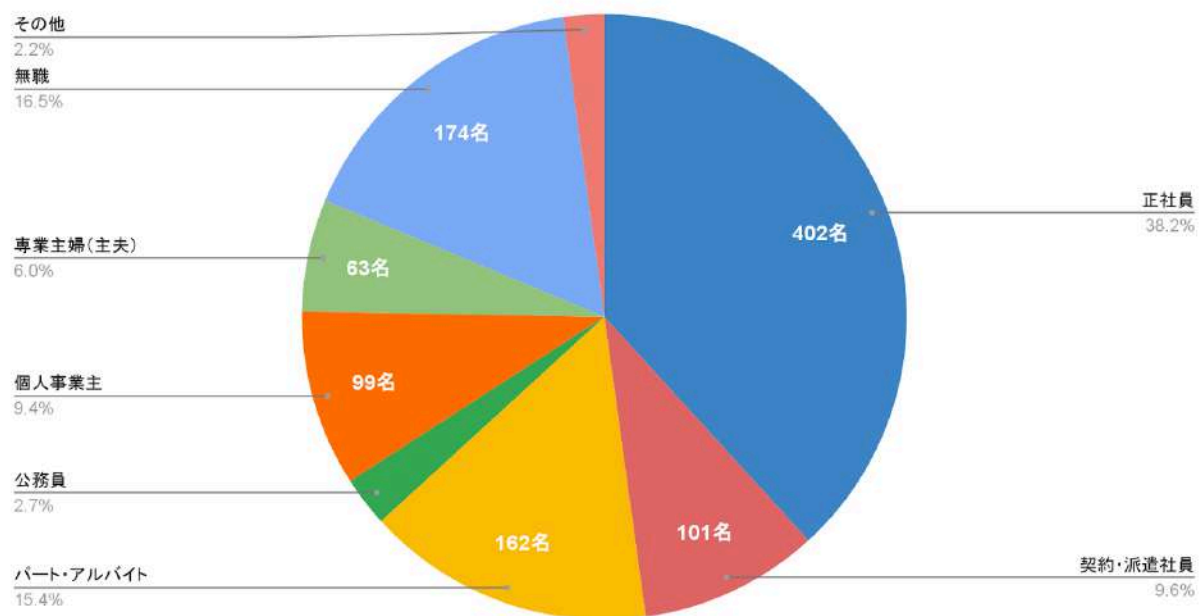
※アンケート回答時の年齢を記入していただいておりますので、借入時の年齢とは限らないことをご留意ください。

Q3. 今までにお金が必要になった際、足りなかった経験はありますか？ある方はどう対処したかお答えください。(複数回答可)



クレジットカードのキャッシング	628名
消費者金融カードローン	580名
銀行カードローン	413名
スマホアプリ	51名
国の公的融資制度	115名
家族・知人	431名
質屋	102名
その他	4名

QS4. あなたの職業を教えてください。

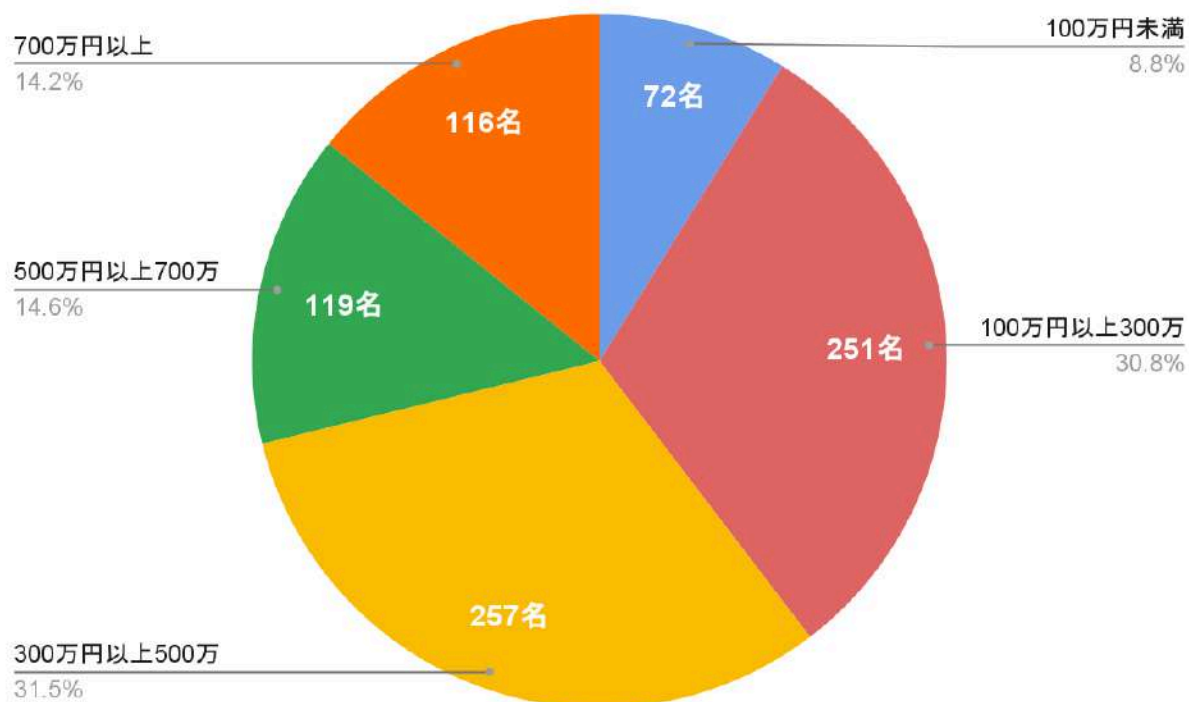


正社員	402名
契約・派遣社員	101名
パート・アルバイト	162名
公務員	28名
個人事業主	99名
専業主婦（主夫）	63名
無職	174名
その他	23名

※アンケート回答時の職業を記入していただいておりますので、借入時の職業とは限らないことをご留意ください。

QS5. あなたの個人年収を教えてください。

(QS4で選択肢『1.正社員』～『5.個人事業主』、『8.その他』の中でいずれかを選択した場合回答)



100万円未満	72名
100万円以上300万円未満	251名
300万円以上500万円未満	257名
500万円以上700万円未満	119名
700万円以上	116名

※アンケート回答時の年収を記入していただいておりますので、借入時の年収とは限らないことをご留意ください。

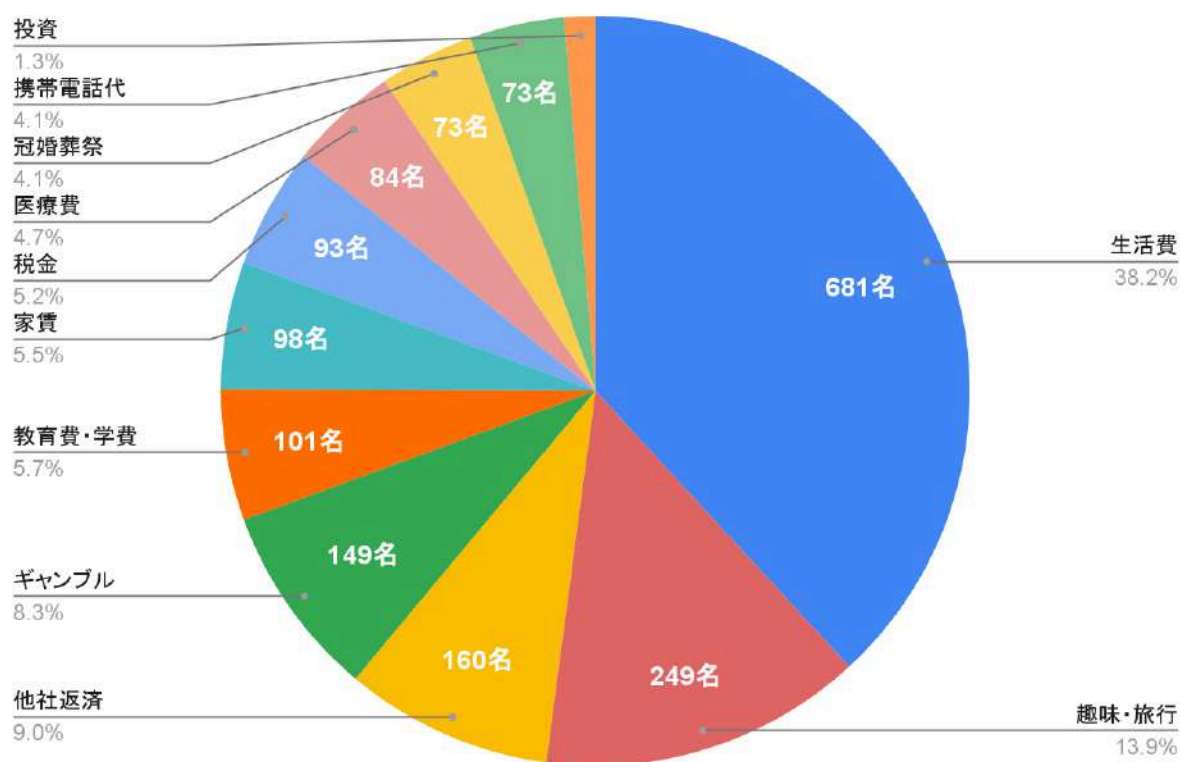
以上が、総回答数3,532名／有効回答数1,052名のスクリーニング調査の結果となります。

本調査結果

本調査は、スクリーニング調査の結果からお金を借りた経験がある方（そのうち「消費者金融カードローンを利用した方」を優先抽出）1,052名を対象に実施しました。

Q1. お金を借りた際の「利用理由・使用用途」を教えてください。(複数回答可)

以前の調査で「今までにお金が必要になった際、足りなかった経験があり、その際お金を借りた」と回答した方に伺います。



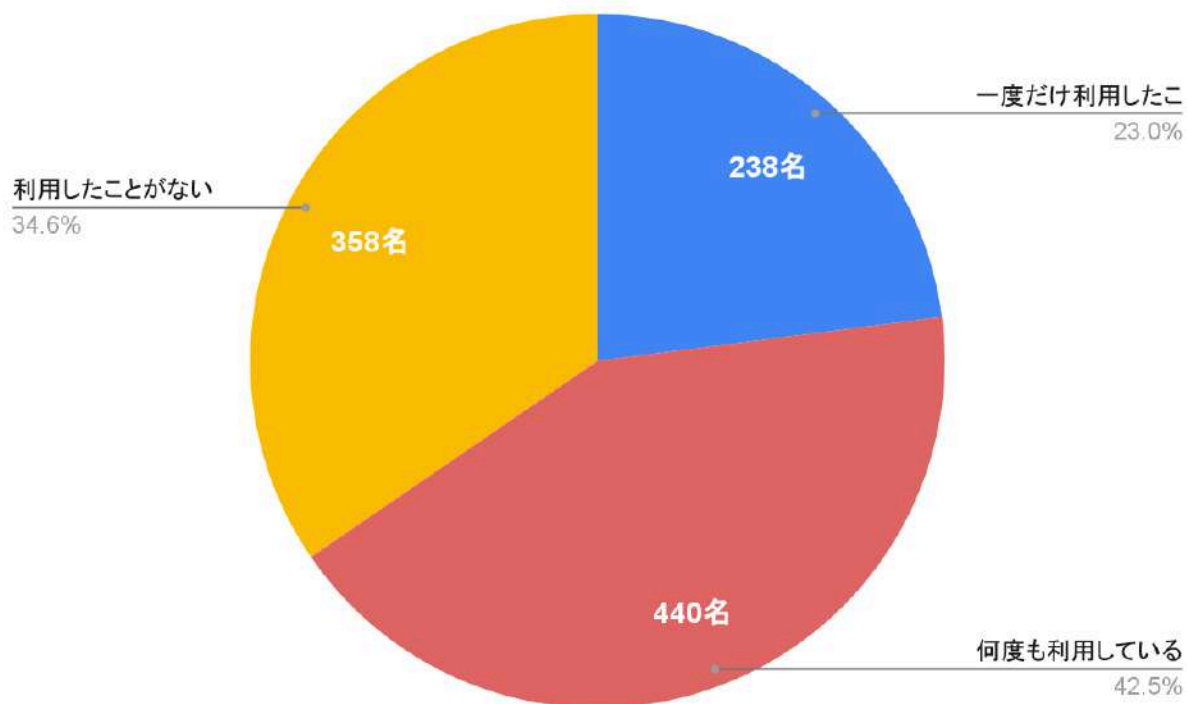
生活費	681名
趣味・旅行	249名
他社返済	160名
ギャンブル	149名
教育費・学費	101名

家賃	98名
税金	93名
医療費	84名
冠婚葬祭	73名
携帯電話代	73名
投資	24名

※その他（自由回答）が109件ありましたが、公平性を期すためデータの修正は行わず上記の結果に含めておりません。

※投資・ギャンブル目的で借金をすることは推奨できません。そのような借入目的で申し込む場合、審査可決とならない場合があります。また、副業・投資の勧誘の際に消費者金融の契約をさせる業者について、[消費者庁が注意喚起](#)をしています。

Q2. 消費者金融の利用経験について教えてください。



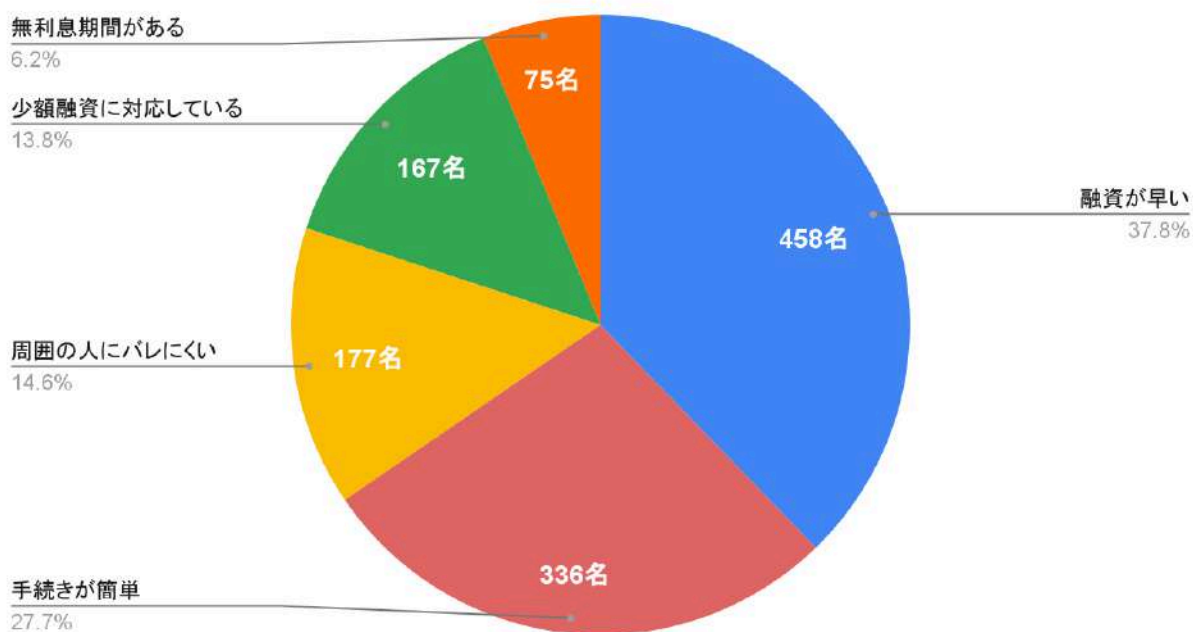
一度だけ利用したことがある	238名
何度も利用している	440名

利用したことがない	358名
-----------	------

※その他（自由回答）が16件あり、いずれも「一度だけ利用したことがある」「何度も利用している」に分類されるものでしたが、公平性を期すためデータの修正は行わず上記の結果に含めておりません。

Q3. 消費者金融を選んだ理由を教えてください。

（Q2 で選択肢『1.一度だけ利用した...』、『2.何度も利用している』の中でいずれかを選択した場合回答）

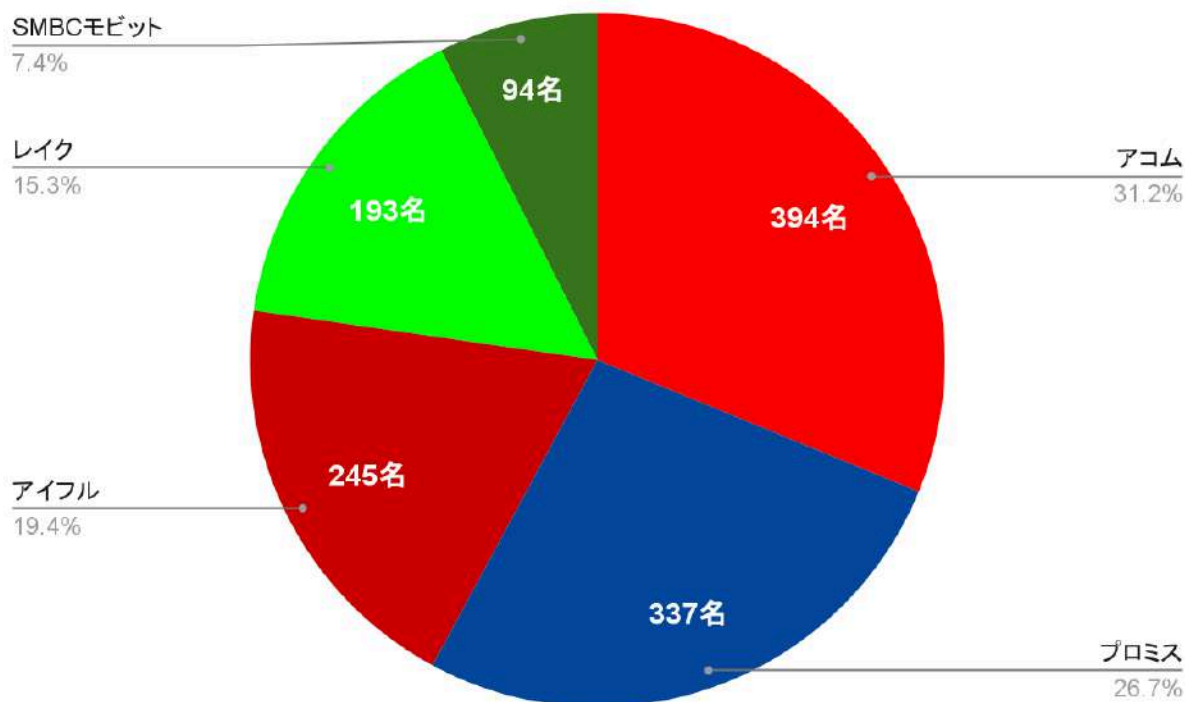


融資が早い	458名
手続きが簡単	336名
周囲の人にバレにくい	177名
少額融資に対応している	167名
無利息期間がある	75名

※その他（自由回答）が11件ありましたが、公平性を期すためデータの修正は行わず上記の結果に含めておりません。

Q4. 借入の際に選んだ消費者金融を教えてください。

(Q2 で選択肢『1.一度だけ利用した...』、『2.何度も利用している』の中でいずれかを選択した場合回答)



アコム	394名
プロミス	337名
アイフル	245名
レイク	193名
SMBCモビット	94名
その他	64名

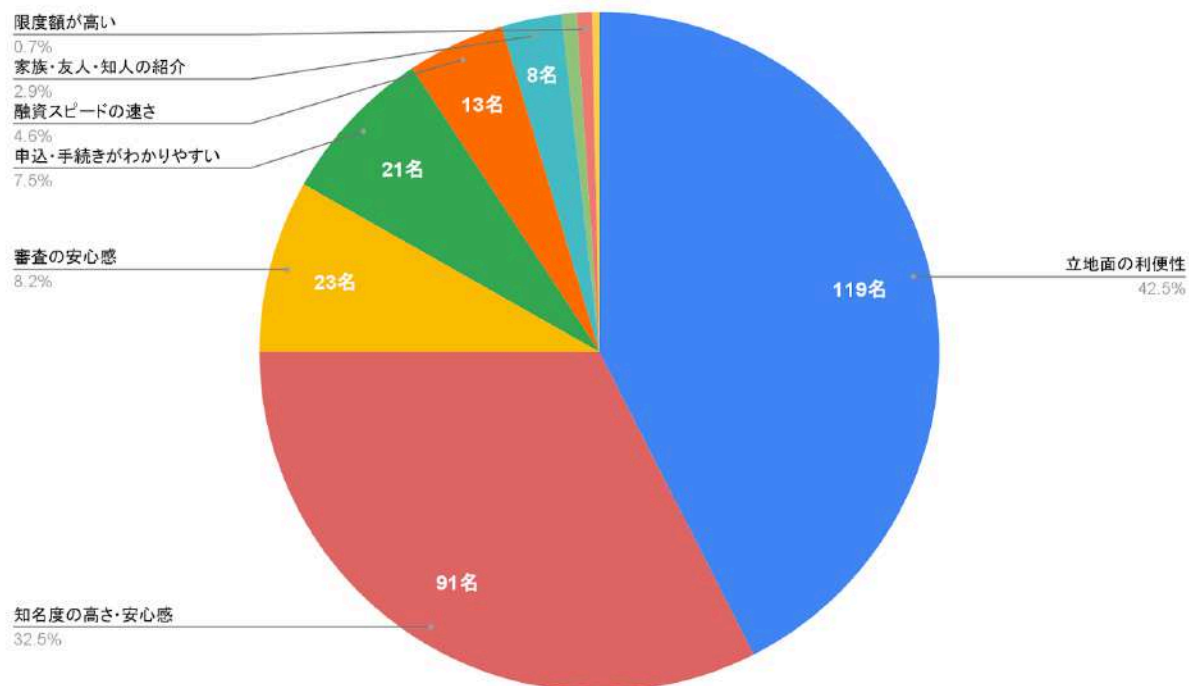
※その他（自由回答）64件には、LINEポケットマネーやセントラルなどの中小消費者金融や、既に消滅した消費者金融などが含まれていましたが、銀行系カードローン・クレジットカードのキャッシング機能・農協金融・住宅金融公庫など消費者金融ではない回答や「忘れてしまった」「名前がわからない」などの回答も含まれることをご留意ください。

Q5. 前問でお答えいただいた消費者金融を選んだ理由を教えてください。

※複数借りた経験がある場合、直近についてご回答ください。

※その他（自由回答）64件の消費者金融を選んだ理由については、1社ごとの母数が少ないため結果の表示を割愛しています。

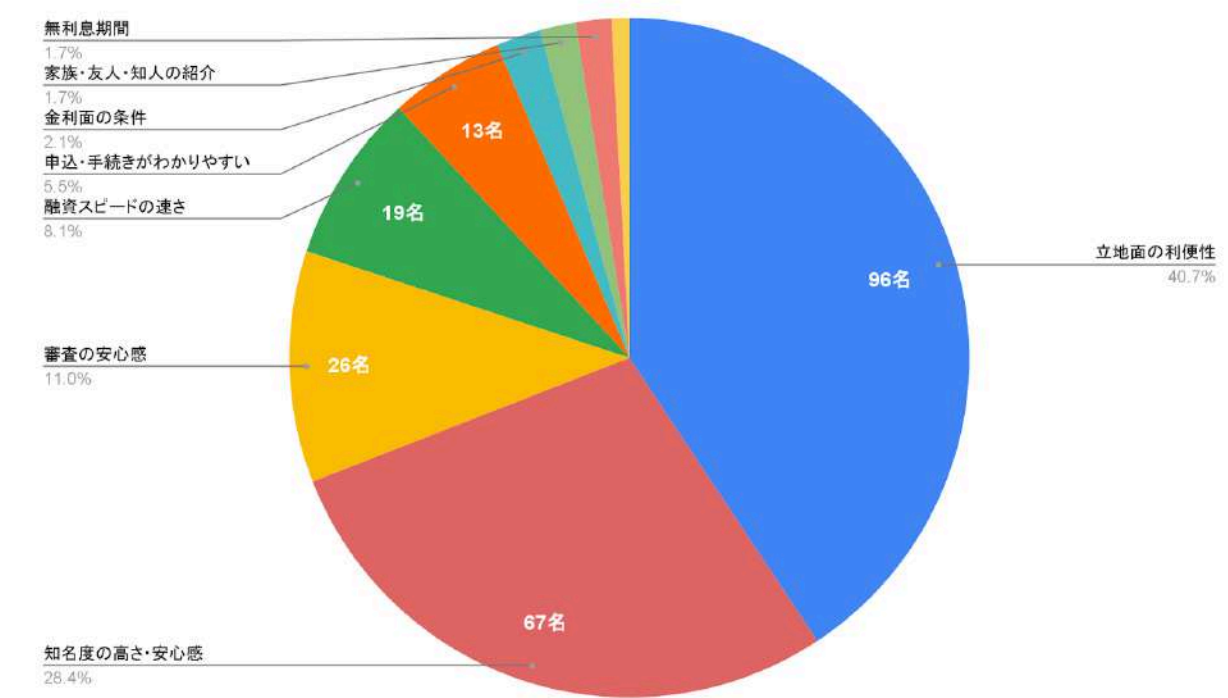
アコムを選んだ理由



立地面の利便性	119名
知名度の高さ・安心感	91名
審査の安心感	23名
申込・手続きがわかりやすい	21名
融資スピードの速さ	13名
家族・友人・知人の紹介	8名
無利息期間	2名
限度額が高い	2名

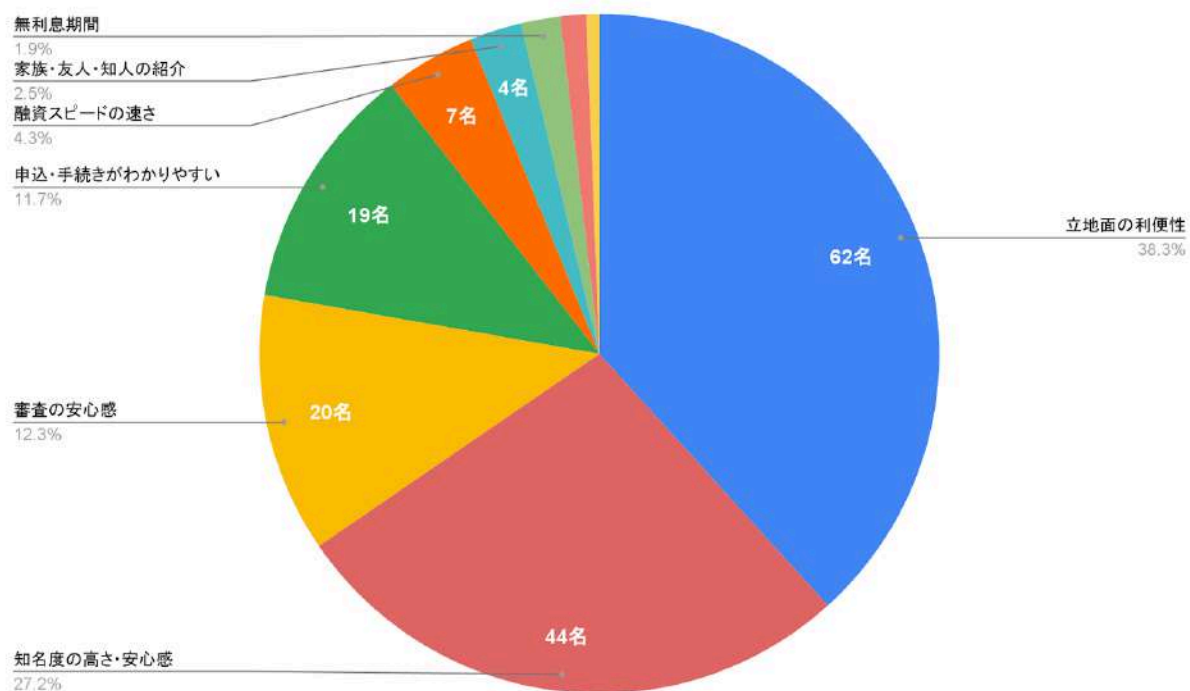
金利面の条件	1名
--------	----

プロミスを選んだ理由



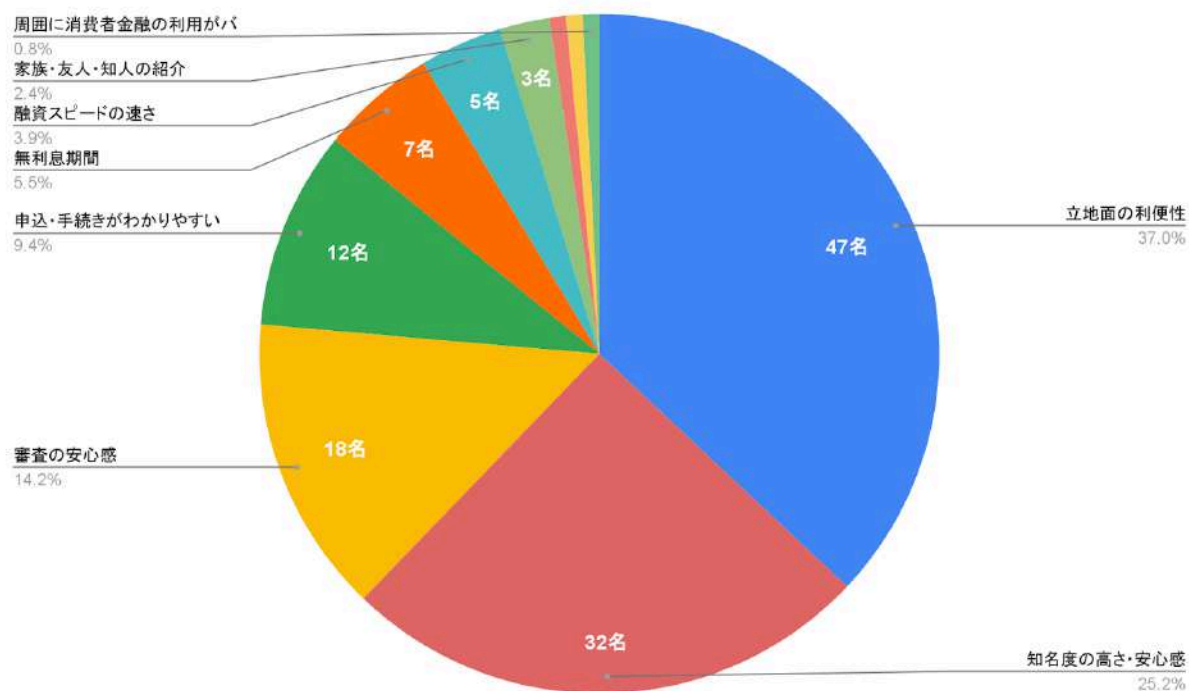
立地面の利便性	96名
知名度の高さ・安心感	67名
審査の安心感	26名
融資スピードの速さ	19名
申込・手続きがわかりやすい	13名
金利面の条件	5名
家族・友人・知人の紹介	4名
無利息期間	4名
返済のしやすさ	2名

アイフルを選んだ理由



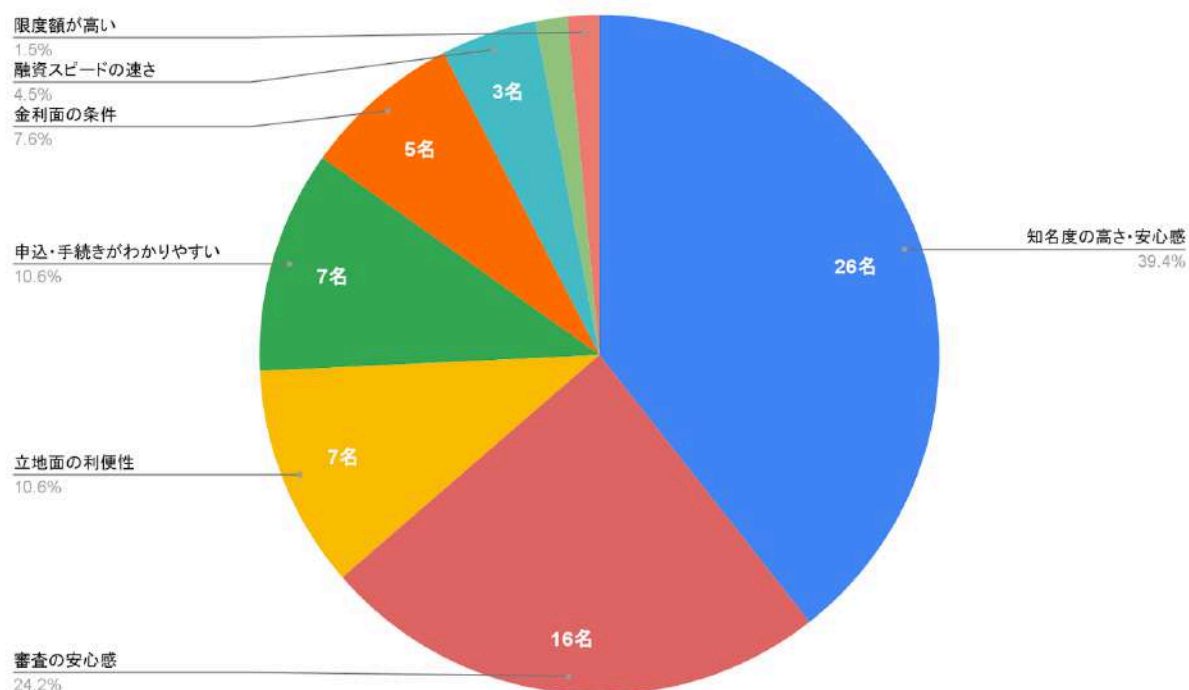
立地面の利便性	62名
知名度の高さ・安心感	44名
審査の安心感	20名
申込・手続きがわかりやすい	19名
融資スピードの速さ	7名
家族・友人・知人の紹介	4名
無利息期間	3名
周囲に消費者金融の利用がバレにくい	2名
限度額が高い	1名

レイクを選んだ理由



立地面の利便性	47名
知名度の高さ・安心感	32名
審査の安心感	18名
申込・手続きがわかりやすい	12名
無利息期間	7名
融資スピードの速さ	5名
家族・友人・知人の紹介	3名
金利面の条件	1名
限度額が高い	1名
周囲に消費者金融の利用がバレにくい	1名

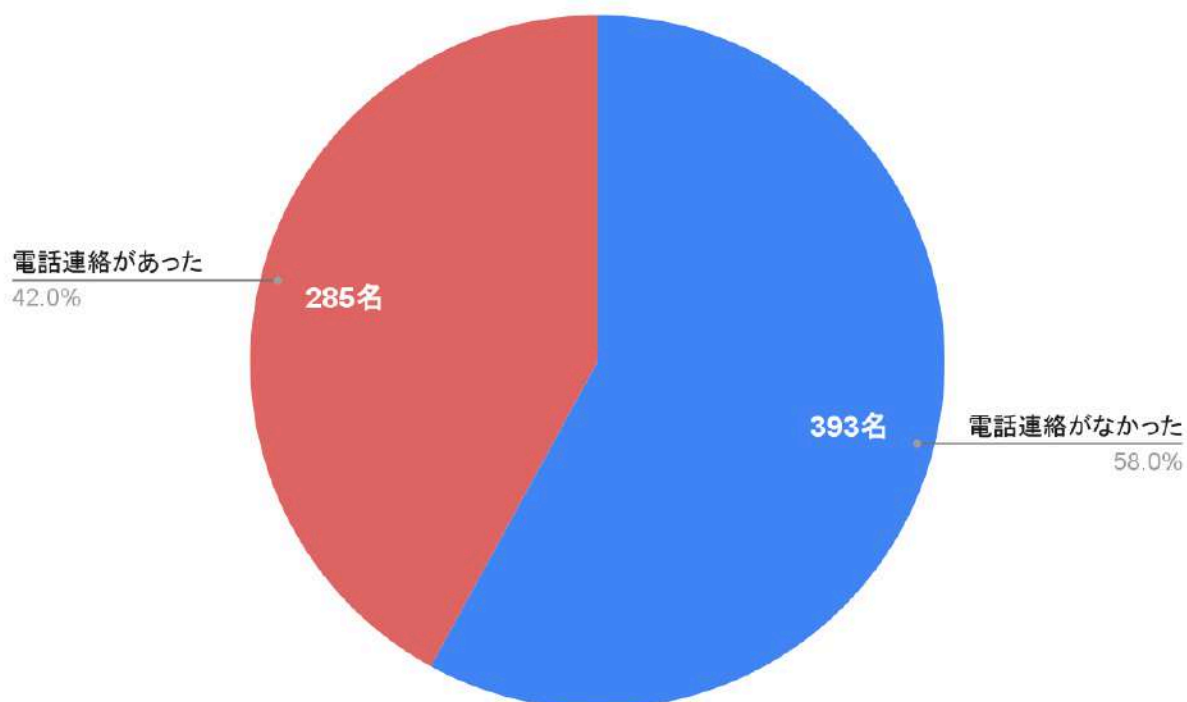
SMBCモビットを選んだ理由



知名度の高さ・安心感	26名
審査の安心感	16名
立地面の利便性	7名
申込・手続きがわかりやすい	7名
金利面の条件	5名
融資スピードの速さ	3名
無利息期間	1名
限度額が高い	1名

Q6. 消費者金融で借りた際に電話連絡があったかどうか教えてください。

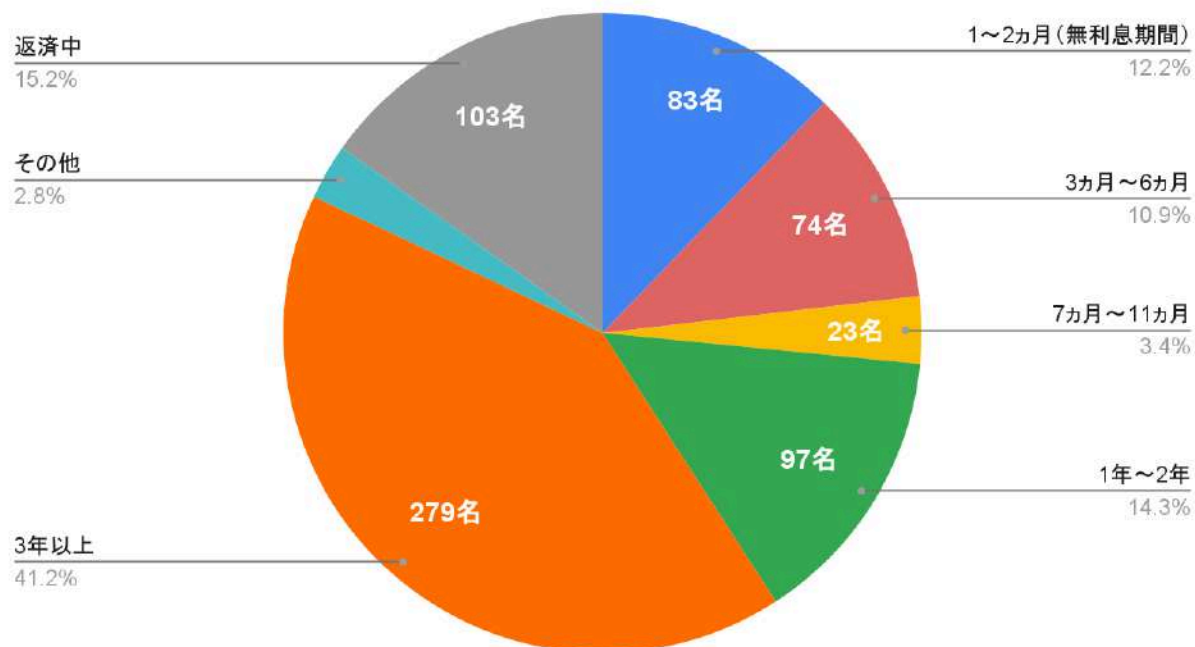
※複数借りた経験がある場合、直近についてご回答ください。（Q2で選択肢『1.一度だけ利用した...』、『2.何度も利用している』の中でいずれかを選択した場合回答）



電話連絡がなかった	393名
電話連絡があった	285名

Q7. 消費者金融で借りた際の返済期間がどれくらいだったかどうか教えてください。

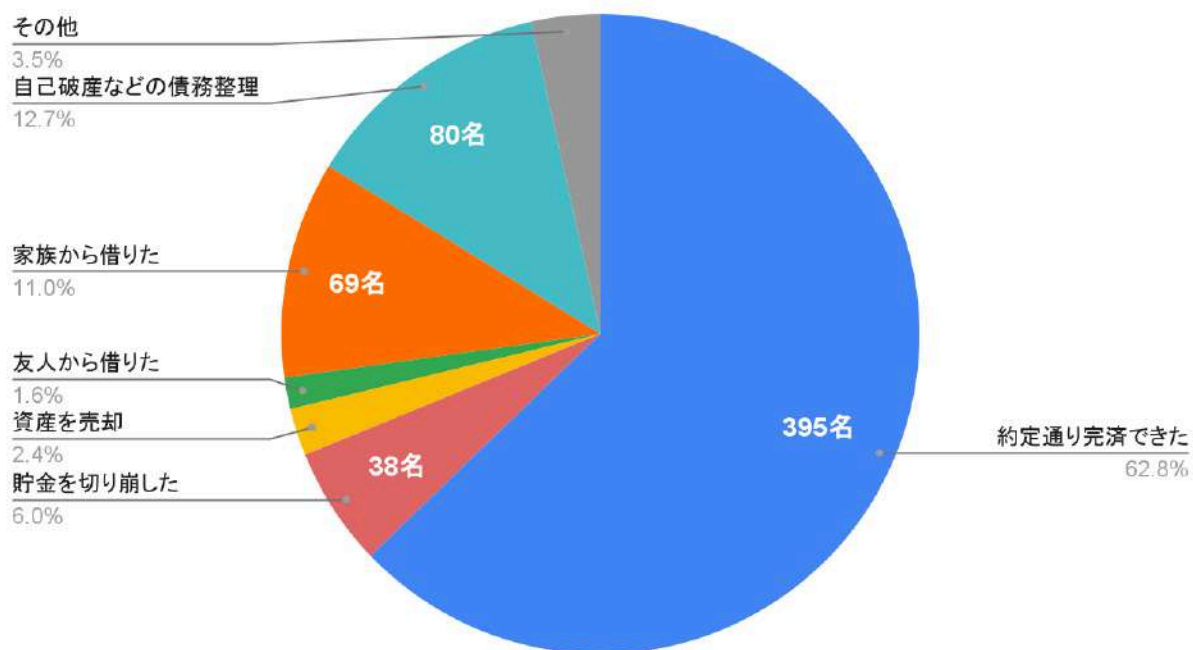
※複数借りた経験がある場合、直近についてご回答ください。（Q2で選択肢『1.一度だけ利用した...』、『2.何度も利用している』の中でいずれかを選択した場合回答）



1～2ヵ月（無利息期間）	83名
3ヵ月～6ヵ月	74名
7ヵ月～11ヵ月	23名
1年～2年	97名
3年以上	279名
その他	19名
返済中	103名

Q8. 完済までどのような返済をしましたか。

※複数借りの経験がある場合、直近についてご回答ください。（Q7で選択肢『1.1～2ヵ月（無利息...』～『6.その他』の中でいずれかを選択した場合回答）

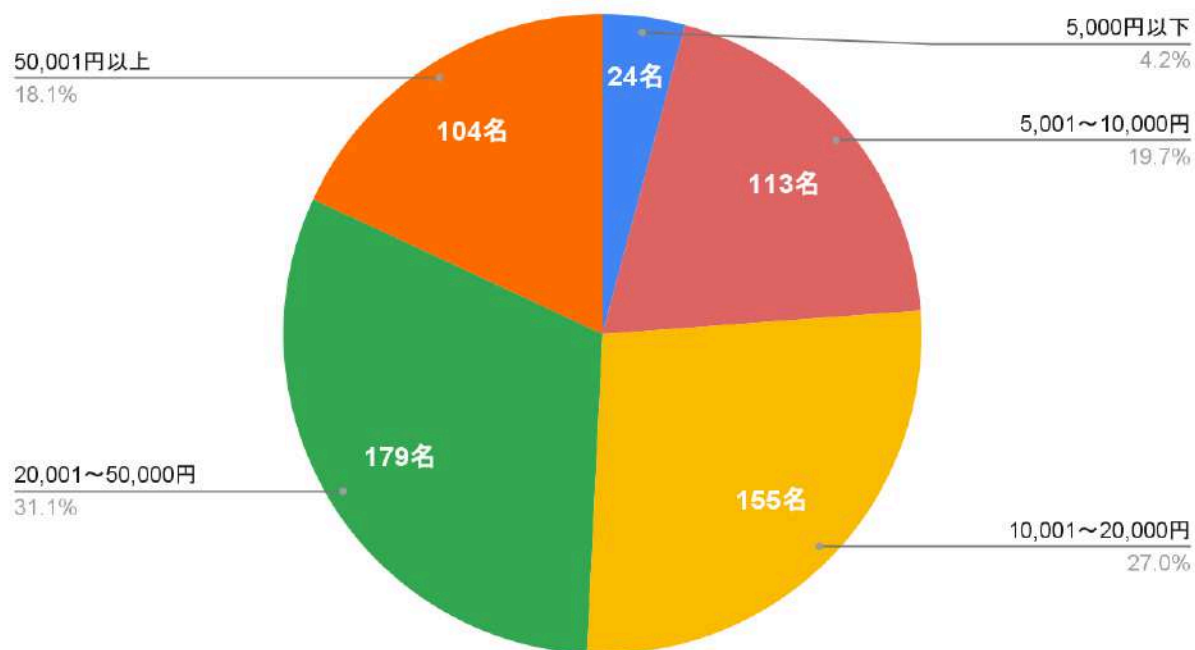


約定通り完済できた	395名
貯金を切り崩した	38名
資産を売却	15名
友人から借りた	10名
家族から借りた	69名
自己破産などの債務整理を行った	80名
その他	22名

※その他（自由回答）22件には、「生活保護を受けた」「おまとめローンや借り換えローン、金利が変わりその分元金が減った」などの返済手段、「弁護士との法律相談を利用」「司法書士に頼んで過払い金で完済」などの法的手段も含まれますが、公平性を期すためデータの修正は行っておりません。

Q9. 月額いくら返済していましたか。

※複数借りた経験がある場合、直近についてご回答ください。（Q7で選択肢『1.1～2ヵ月（無利息...』～『6.その他』の中でいずれかを選択した場合回答）



5,000円以下	24名
5,001～10,000円	113名
10,001～20,000円	155名
20,001～50,000円	179名
50,001円以上	104名

以上が、スクリーニング調査により抽出された1,052名に対する本調査の結果となります。

当アンケート調査で得られた情報を個別に分析

お金を借りた際の使用用途を男女別に比較（用途は複数回答可）

お金を借りた際の使用用途を男女別に比較しました。

用途別／男女別	男性（年齢中央値：56歳）		女性（年齢中央値：53歳）		合計
生活費	484名	62.50%	197名	71.10%	681名
趣味・旅行	193名	24.90%	56名	20.20%	249名
家賃	68名	8.80%	30名	10.80%	98名
税金	69名	8.90%	24名	8.70%	93名
医療費	60名	7.70%	24名	8.70%	84名
冠婚葬祭	58名	7.50%	15名	5.40%	73名
携帯電話代	49名	6.30%	24名	8.70%	73名
他社返済	125名	16.10%	35名	12.60%	160名
教育費・学費	67名	8.60%	34名	12.30%	101名
投資	20名	2.60%	4名	1.40%	24名
ギャンブル	133名	17.20%	16名	5.80%	149名
その他	83名	10.70%	26名	9.40%	109名
合計	775名	100.00%	277名	100.00%	1,052名

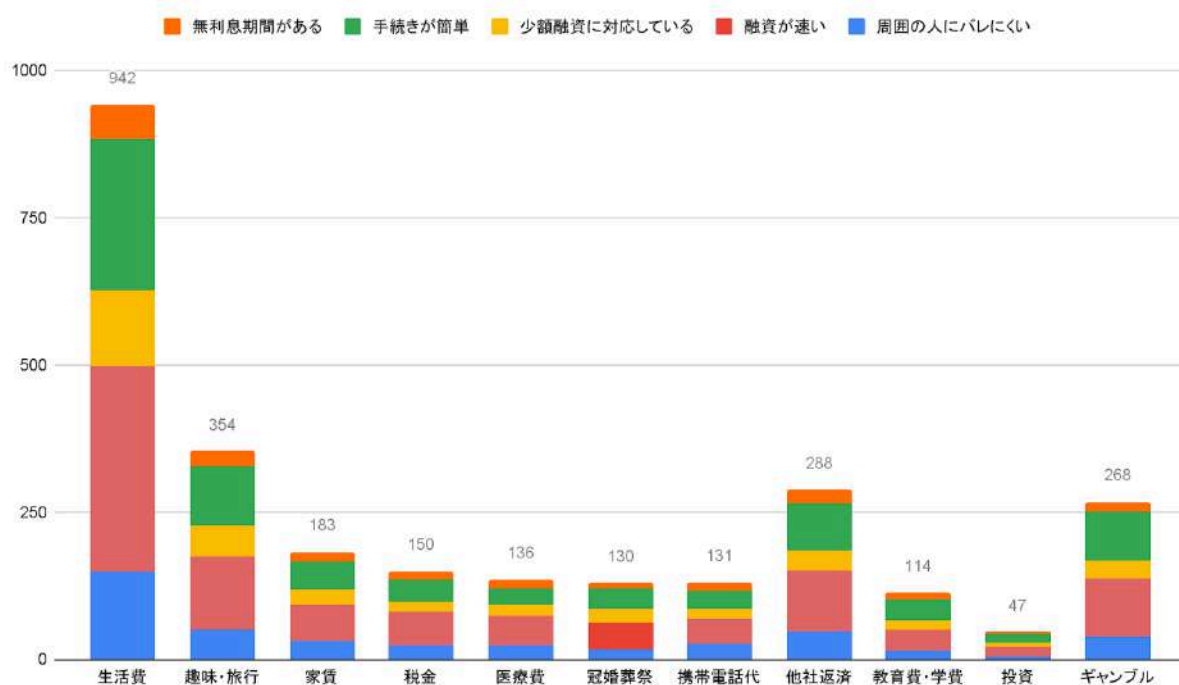
※投資・ギャンブル目的で借金をすることは推奨できません。そのような借入目的で申し込む場合、審査可決とならない場合があります。

男女ともに生活費用途が一番高いですが、特に女性が男性の62.50%より8.6%高い71.10%という結果となっています。その他の用途は男女で大きく変わりませんが、ギャンブルと答えた男性が17.20%いるのに対し、女性が5.80%ということも印象的です。

お金が必要な場合でも借りることに抵抗を感じている方は、どれぐらいの同性が自分と同じ理由でお金を借りているのか知ることで、その抵抗感が薄れることでしょう。

お金を借りた際の使用用途別・消費者金融を選んだ理由（両設問とも複数回答可）

『お金を借りた際の使用用途』と『消費者金融を選んだ理由』の結果を掛け合わせることで、消費者金融を選んだ人の状況別に消費者金融に求めるニーズが異なることがわかりました。



使用用途／理由	周囲の人にバレにくい	融資が速い	少額融資に対応している	手続きが簡単	無利息期間がある
生活費	150	348	129	257	58
趣味・旅行	49	127	50	102	26
家賃	32	61	25	48	17
税金	24	56	17	38	15
医療費	23	50	19	30	14
冠婚葬祭	17	46	23	34	10
携帯電話代	26	43	17	31	14

使用用途／理由	周囲の人にバレにくい	融資が速い	少額融資に対応している	手続きが簡単	無利息期間がある
他社返済	47	104	34	81	22
教育費・学費	14	37	16	35	12
投資	5	17	7	13	5
ギャンブル	39	98	32	81	18

※投資・ギャンブル目的で借金をすることは推奨できません。そのような借入目的で申し込む場合、審査可決とならない場合があります。また、副業・投資の勧誘の際に消費者金融の契約をさせる業者について、消費者庁が注意喚起をしています。

参考：消費者庁 <https://www.caa.go.jp/notice/entry/036459/>

どの使用用途でも、共通して「融資が速い」ことが一番重視され、続いて「手続きが簡単」であることが二番目に重視されることがわかりました。三番目に「周囲の人にバレにくい」か「少額融資に対応している」かどうか、使用用途によって異なる結果となっています。

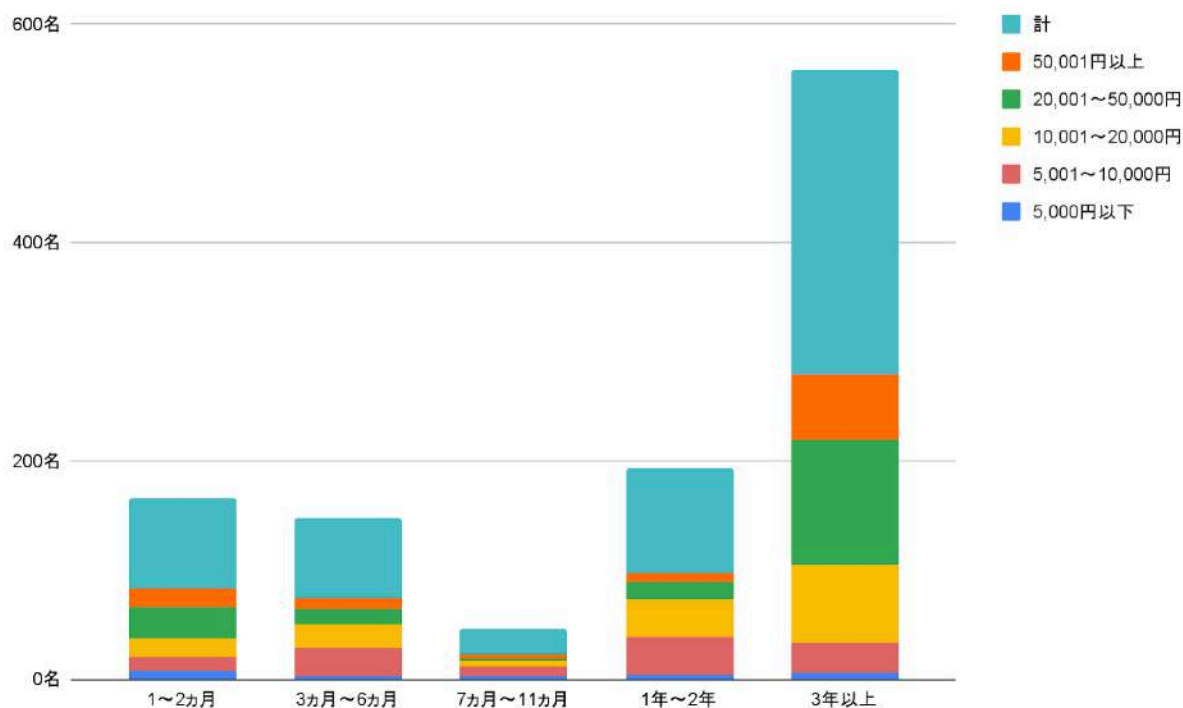
例えば、生活費、家賃、税金、医療費、携帯電話代などの日常生活に密接に関わる使用用途については、「周囲の人にバレにくい」ことが重視されます。対して、趣味・旅行や冠婚葬祭、教育費・学費など、1回限り・回数が限られているものについては、高額な借金をする必要がないため「少額融資に対応しているか」が重視されているのでしょう。

そのため、消費者金融を選ぶ際は、まず「融資スピードが他社よりも早い」「申込手続きに時間がかからない（わかりやすいかどうか）」を最初に確認し、そのうえで、用途に合わせて「周囲の人にバレにくい」か「少額融資に対応している」を確認するといでしょう。

また、一回で返済できる可能性が高い少額融資と無利息期間は相性が良いことが特徴です。大手消費者金融は初回借入か契約の翌日から最大30日間無利息期間を設けている会社が多く、無利息期間内に完済しやすい少額融資との相性がいいといえます。こちらも併せて確認することをおすすめします。

返済期間別・月額の返済額

『返済期間』別に『月々の返済額』の該当人数を表示することで、借金の返済計画に具体的なイメージを持つことができるかと思います。以下のグラフと表をご覧ください。



『返済期間』と『月額の返済額』別に人数が多かった順に集計し色分けすると、完済完了まで3年以上かかったという方が特に多く、次に1年~2年が多いということがわかりました。

借入額・月々の返済額にもよりますが消費者金融でまとまった金額を借りると、完済まで時間が1年以上の時間を要したというケースが多いようです。次に多いのが1~2ヵ月で、ついで3ヵ月~6ヵ月が多いという結果になります。

大手消費者金融では初回契約や借入の翌日から最大30日間の無利息期間を設けていることが多く、中には最大60日（2ヶ月）最大180日（6ヶ月）の無利息期間を設けている消費者金融もあります。この期間を利用して、1ヶ月~6ヶ月の早期に返済完了したと考えられます。

※消費者金融の無利息期間には各社条件があります。詳細はご契約を検討している消費者金融のホームページなどの案内をご確認ください。

返済期間／ 月々の返済額	1～2ヵ月	3ヵ月 ～6ヵ月	7ヵ月 ～11ヵ月	1年～2年	3年以上	計
5,000円以下	7名	3名	3名	4名	6名	23名
5,001～10,000円	14名	26名	9名	35名	27名	111名
10,001～20,000円	16名	22名	5名	34名	72名	149名
20,001～50,000円	29名	13名	2名	16名	114名	174名
50,001円以上	17名	10名	4名	8名	60名	99名
計	83名	74名	23名	97名	279名	556名

この表では、それぞれの大まかな借入額がわかります。例えば返済期間が34名の方が選んだ1年～2年で月々の返済額が10,001～20,000円の返済計画の場合、総返済額 120,012円（10,001円×1年（12ヶ月））～480,000円（20,000円×2年（24ヶ月））となります。

40万円を金利18.0%で借りて月20,000円ずつ返していく場合、総返済額は479,118円となるので、上記の34名に近い返済計画を選んでいるということになります。

金利（年率）や返済方式によって借入額に対する総返済額は変わりますが、ご自身の借入額に対する返済計画を立てる際に他の方の返済計画を参考にするなどの目的で、この調査結果をご活用ください。

もちろん、月々の返済額は余裕がある限り多めに返済し返済期間を短縮することが重要です。そうすることで、利息負担を減らして総返済額が減ります。少額を長年返済し続けるとなかなか元金が減らずに、借りた額に対して利息負担が大きくなりすぎてしまうので注意しましょう。

職業別・消費者金融申込時の電話連絡の有無

職業別に電話連絡の有無の実績を分けて表示することで、電話連絡が必要な状況と自分が電話連絡の対象になるかどうかのわかりやすくなると思います、以下の表を作成しました。

職業／電話連絡有無	あった	なかった	計
正社員	134	143	277
契約・派遣社員	30	40	70
パート・アルバイト	44	69	113
公務員	7	15	22
個人事業主	23	36	59
専業主婦（主夫）	5	20	25
無職	33	63	96
計	285	393	678

※アンケート回答時の職業を記入していただいておりますので、借入時の職業とは限らないことをご留意ください。

※その他（自由回答）が合計16件ありましたが、公平性を期すためデータの修正は行わず上記の結果に含めておりません。

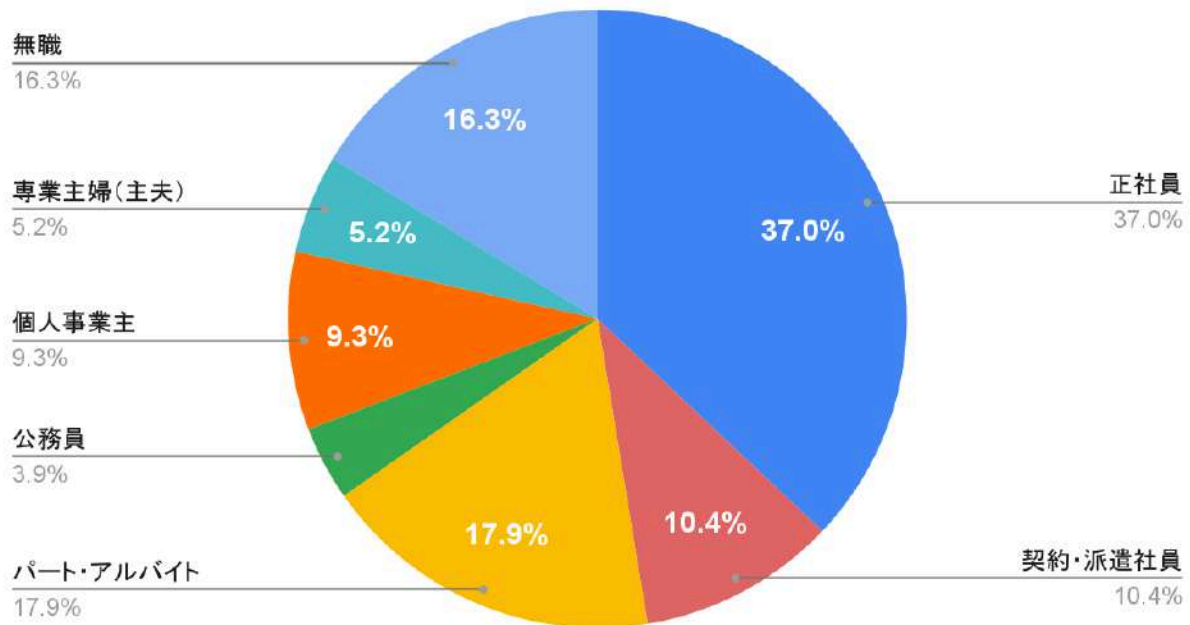
近年の大手消費者金融では、申込時の書類で確認を行い、電話連絡は原則行わないとしている場合がほとんどです。実際に、どの職業でも電話連絡がなかったと回答している方のほうが多いことがわかります。

電話連絡が行われるのは提出書類が不明瞭であったり、審査上、電話連絡が必要と判断される場合です。このアンケートでは、大手消費者金融以外の消費者金融や過去数十年前の借入経験がある方の回答も参考にしているため、この結果だけを見て電話連絡を懸念する必要はありません。

正社員、契約・派遣社員、パート・アルバイト、公務員に当てはまる場合は信用情報の履歴に問題がなく、提出書類を欠けることなく提出していれば、電話連絡なしで審査が進む可能性が高いです。

また、正社員や公務員でないからといって最初から審査を諦める必要はありません。今回アンケートに回答した人の40.9%は正社員・公務員ですが、それ以外の職業で働く人でも契約できる可能性はあります。

職業別・電話連絡がなかった人の割合



契約・派遣社員、パート・アルバイト、個人事業主までの数値を合計したところ、37.6%もの人が正社員以外の職業だったという結果になりました。安定した収入があることを証明できれば、審査結果次第では学生やフリーランスでも消費者金融からお金を借りることができます。

ただし、多くの消費者金融では本人に安定収入があることを借入の条件としており、専業主婦（主夫）や無職は本人に安定収入がないため、契約できない可能性が高いです。専業主婦（主夫）の場合は、配偶者貸付のサービスを提供している消費者金融であれば申し込むことができます。